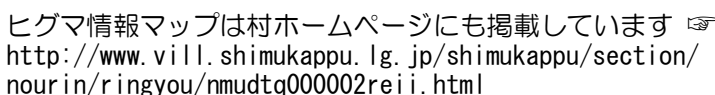




注) 情報の有無に係わらず、村内は、どこでもヒグマがいる可能性があります。



情報提供：酪農学園大学



10月は道内一般に、ヒグマが食欲旺盛になり、人身事故の恐れが増すとして注意を呼びかけられています。占冠村内では平年の10月は静かなのですが、過去には特異的に出現が多い年もありました（前は平成29年）。今年もミズナラのドングリはやや不作とみられ、ヒグマ頻発の秋とならないか、予断を許しません。

ヒグマが近くにいるだけで、直ちに人が危ないというわけではありません。お出かけの際は周囲の見通しを確保し、注意を怠らないこと。お住まいでは、食品や生ゴミをヒグマにとられないよう、しっかり管理することが大事です。

デントコーン畑の侵入発生状況（9/1～9/28）

収穫後も、侵入が続いています。収穫にはもはや影響ありませんが、人の近くでの活動が続くことになります。

また土地が平らでササの無い畑の縁はクルミを探しやすいらしく、畑でクルミを食べる動きも各地で見られています。

国道、千歳橋から高台の間、夜中にヒグマが横断しています。ご注意を!!

